

ほっとこらせ

2023年8月23日発行:北海道重症心身障害児(者)を守る会在宅部会(略称-守る会) 第83号

こどもたちとのかけがえのない日々に

重度障がい児支援 花色
代表 斉藤 由紀

6年前、私は花色(重症心身障がい児と医療的ケア児の通所施設)を開設するにあたり、こども達に何を伝えられるのだろうかと考えました。まず抱っこをして五感にうったえ、体で感じられる遊びをしたいと思います。

この6年格好悪い所を見せながらも、こども達と保護者様に花色も私も育てて頂いたと改めて振り返ります。そして今、わたし達はこども達を抱きしめ、歌をうたい、トンボの力強い羽ばたきや、海の生き物のこと、かき氷や季節のことを、手を握り、背中をトントン叩きながら話し、見せ、触って感じてもらっています。

花色での療育活動は、保育士他多職種でサポートしながら行っております。活動を体験し認識を深めて、生きるための“総合する力”を高めてもらいたいと考えています。

今の社会は情報も果てしなく、どんな物も容易に手に入れます。「もっと、もっと」と欲は増えますが、人間が生きるという事は物欲を満たす事よりも、自分の身体や心が心地よい状態を探し、感受性を育む事の方が大事ではないかと私は考えております。豊かな国で生きているからこそ忘れがちな事です。

～例えば、見た事が無くても物語の世界を想像する事ができ、その世界が晴れたり、曇ったりする日を思い浮かべる事ができる。そんなイメージのバリエーションを増やしてもらいたいと思いながら携わっております。

そして、ご近所さんとの交流はこども達の刺激になっています。沢山の人の出会い実体験をして、ワクワクドキドキする気持ちも肉付けされて、想像力に結び付いて欲しいと願います。

2015年から世界が目標としている [トランスフォーム]で、人類が安定してこの世界で暮らし続けるためのSDGsには、一人ひとりの生存や尊厳を大切に「誰ひとり取り残されないこと。」社会の中で守られるべき子ども達の存在と、一つひとつの家庭の大切さを掲げております。自分や家族を大切に、地域と共に助け合って生きて欲しいです。

あるお医者様が言っていました。「毎日、新しい一日を生きていること。たくさんの支えがあって生き延びてこれた事を実感することができますか?」と。これは、私達もこども達も同じです。

“何となく”と、流して過ごすのではなく、自身の力を育てる事の大切さに向き合い成長できるように支援したいと考えます。

～今日、空を見ましたか。 浮かんでいた雲は、どんな形をしていましたか。カバになったり、魚になったりするような感性を忘れていませんか。

この先も、必死になったり笑ったりしながら私達はこども達と共に歩み続けたいと思います。

～この笑顔、やさしい時代の風となれ～

1. 「障害児者施策の最近の動向」

講師 長井 浩康 氏(社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会理事)

こどもたちのために今できることは？

□障害児者・重症心身障害児者数(令和4年3月厚生労働省資料)

他の障害児者数に比較して
格段に少ない重症児者
その特性の理解を求め、制
度の持続や資源拡大に声を大
きくあげてください！

障害児者数(推計)

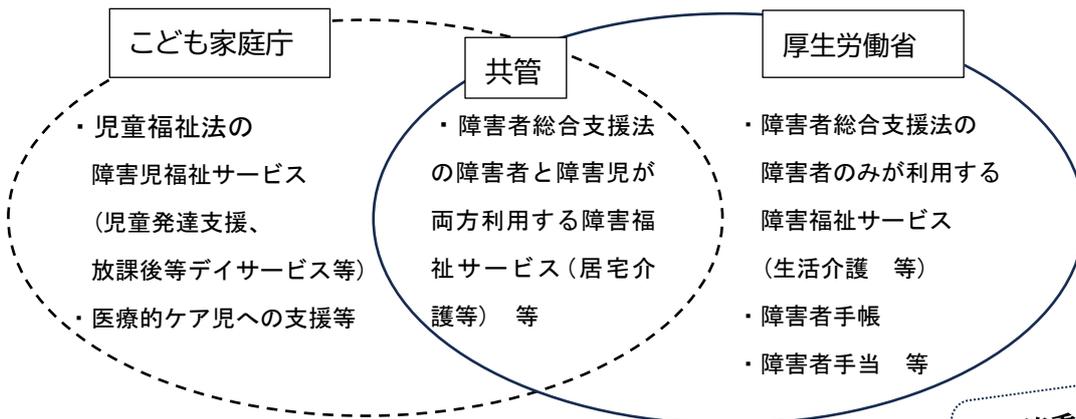
障害児者の総数→964.7万人(人口の約7.6%)

- ・身体障害児者→436.0万人
- ・知的障害児者数→109.4万人
- ・精神障害児者数→419.3万人

重症心身障害児者数(推計)

- 重症児者数の国による全国統計は無い
- 2012年4月1日現在約43,000人
(人口の0.034%、1万人当たり3.4%)
- ※岡田喜篤先生(前北海道療育園理事長)の推計
- 全障害者のうち、0.445%

□こども家庭庁の創設(重症児・者の施策は分かれる!!) <R5.4.1 設置法施行>



施策委員30人の一人として守る会から発言

内閣府施策委員会「地域移行・脱施設を推進する」中で

令和4年8月国連の障害者権利委員会が開催され、9月にはインクルーシブ社会の実現へむけての総括所見が発表された…

※障害者権利条約第19条(地域社会からの孤立および隔離を防ぐ等)

「障害者の権利に関する条約実施状況に係る障害者施策委員会の見解(案)」への意見等<R4.1>

○脱施設化について単なる福祉施設ではない、病院と一体化となった施設が地域移行の対象とならないことを確認したい<守る会>

→障害者支援施設については令和5年度末までの地域生活への移行者数や施設入所者数の削減目標を設けているが、療養介護を行う病院や医療型障害児入所施設については、これらの数値目標は設けていません。<厚労省>

○自治体によっては、重症児(者)施設は作れないと国から指導されていると言われることがあるが、そのような指導をしているのでしょうか<守る会>

→障害児入所施設については新設を認めないというような指導はしていません。

障害者支援施設については、自治体が障害者福祉計画で定める施設入所者数の削減目標との関係から、新設が認められないということが考えられます。<厚労省>

2. 北海道医療的ケア児等支援センターについて

講師 富加見 昌孝 氏 <北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課課長補佐>

□重症心身障がい児に関する状況調査<実施：北海道>

○調査の目的

近年の医療技術の進歩等により、在宅で生活する重症児者及び医療的ケア児が増加していることから、地域生活支援体制の検討を行うための基礎資料とする。

○調査の条件

調査対象：在宅の重症心身障がい児者(札幌市を除く)

調査方法：振興局社会福祉課を経由して、市町村担当部署に照会

調査期間：令和4年12月照会(令和5年3月集約)

調査時点：令和4年4月1日

計	0～5歳	6～11歳	12～17歳	18～19歳	20歳～
重症児・者 868人	86人	138人	172人	57人	415人
医療的ケア児 221人	46人	67人	81人	27人	—



相談例1：自治体の体制構築
 大都市周辺5万人台
 ・自治体の中に医療型短期入所を確保したい。
 ↓道内の実態や実践例について情報提供。必要があれば研修会開催も

北海道医療的ケア児等支援センター開設(R4.6)から1年

様々な相談に対応しています

▼委託先：医療法人稲生会(〒006-0814 札幌市手稲区前田4条14丁目3-10)

▼開所日：月曜日～金曜日 午前9時～午後16時 (土・日・祝日及び年末年始は休所)

▼相談料：無料 ▼相談・問い合わせ先 ☎050-5443-6064

相談例2. 保育園、就学
 ・保育園に入所させたい。看護師配置ができたので受け入れまでの支援をしてほしい。
 ↓受け入れまでの伴走支援、保育士の第3号研修実施
 ・特別支援学校と地域の学校のどちらがよいか？
 ↓それぞれの特徴を説明。教育委員会とも情報共有

相談例4. 転居
 ・道内の地方都市から札幌市へ転居、拠点病院医師からの相談
 ↓稲生会として訪問診療を開始予定
 ・道外からの転居、訪問診療機関のソーシャルワーカーより相談
 ↓転居前に患者家族も含めてZoom会議

相談例3. 移行期、成人期の課題
 ・年齢によって通院ができなくなっている。
 ↓訪問診療を勧め、地域の医療機関について情報提供↓訪問診療利用
 ・家族による介護が困難になり、施設に入所したいが医療的ケアがあり受け入れ先が見つからない。
 ↓圏域外の施設の情報を提供、地域の相談支援専門員と連携して入所へ

・海外からの事例
 香港より移住を希望したい。
 ↓転居前1年以上にわたりZoomなどで対応
 ↓転居後、行政手続き・就学などで医療的コーディネーターが支援

*褥瘡とは

体のある一部分が圧迫され続けることによって、血液が流れなくなってしまい、その部分が赤くなったり傷になったりすることです。

*日本褥瘡学会によれば「身体に加わった外力は骨と皮膚表層の間の軟部組織の血流を低下、あるいは停止させる。この状況が一定時間持続されると組織は不可逆的な阻血性障害に陥り褥瘡となる」と決められています。

徳光 亜矢先生 より

<北海道療育園 医師>

褥瘡になってしまう原因

1.直接的原因⇒体の一部分に主に体重による圧迫が加わり続けること

2.間接的原因⇒低栄養状態

(1) 体内タンパク質のひとつであるアルブミン成分の減少

→むくんだり皮膚の弾力が弱くなったりします。

(2) 亜鉛成分の減少

→傷を治すことができなくなり、軽く赤くなるだけですむはずだったところが深い傷になってしまうこともあります。

(3) 低栄養が続くと体のクッションがわりになっている脂肪や筋肉がやせてしまいます。皮膚のすぐ下は硬い骨になって、ダイレクト(直接)に皮膚に体重の重みがかかってしまうわけです。

(4) 日中の活動性の低下

事例：2020年12月、私たちの施設は新型コロナウイルスの大規模なクラスターに見舞われました。

クラスターが終わった後、入所者の方々は筋肉量が減り、動きが少なくなり、これまで褥瘡とは無縁だった人たちが次々に皮膚が赤くなったり皮がむけてしまったりするようになりました。2カ月の隔離対策、提供できた食事の内容、そしてウイルスの感染症そのもののダメージなど、複合的な要素が相まってこのようなことになったと考えています。

⇒リハビリテーションや栄養的な介入をすることで、栄養状態がよくなり動きもみられるようになり、褥瘡はいつの間にかできなくなりました。

⇒てんかんの薬を眠気が少ないタイプのものに変更したら、座れるようになり、繰り返していた褥瘡ができなくなった人もいます。

3.局所的問題 ①皮膚の湿潤、②摩擦・ずれ

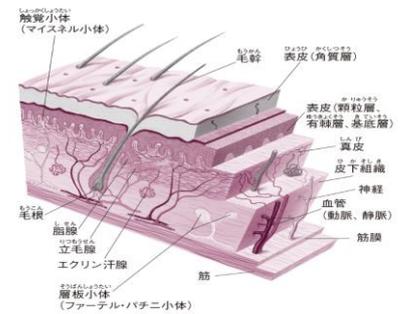
皮膚というのは、体の中と外をはっきりと分けているすごいバリアです。体の中のものを外に出さないようにし、外のものが体に入ってこないようにしています。顕微鏡でよくよく見てみると、一つ一つの細胞がみっちり隙間がないように並んでいて、バリアを作っています。湿潤というのは要するにふやけた状態なのですが、このとき細胞はそれぞれ水分を多く含んで膨張しています。「低栄養でむくんでいる」状態も同じなのですが、そのような膨張した細胞の並びは摩擦にとっても弱くなります。

⇒褥瘡を防ぐおむつ交換の必要性

おむつの中の皮膚は尿や便で湿潤していることが多いです。

尿や便は単なる水分ではなく、アンモニアが入っていたり、酸性だったりしますよね。そのような成分は皮膚に刺激になって、さらに圧迫や摩擦に弱くなります。湿潤した皮膚は通常より、摩擦に対して5倍も弱くなるという話もあります。

図1 皮膚の構造



尾てい骨(仙骨)皮膚 褥瘡への対応

⇒傷を治すための軟膏を塗り、クッション性のある貼物で直接皮膚に排せつ物がつかないようにしています。

褥瘡の予防・治療は？

- ① 体位交換・・・とにかく圧をかけないようにすることが第一です。できるだけ広い面積で体重を受け止めるような工夫ができるといいですが、実際には背骨の変形などで難しいことも多いですね。

できるだけ体の向きをひとつに固定しないようにしたいところです。

- ② いろいろな栄養素を摂取

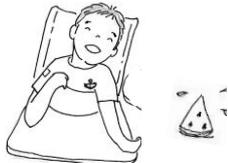
栄養素の摂取は大切なことだと思います。また、体重を増やすために、MCT オイル(お店で売っている)を毎食スプーンで1, 2杯ずつ摂取してもらうのもいいかもしれません。

無味無臭ですので、注入でもごはんにかけてもいいです。

- ③ 皮膚への強い摩擦を避ける

皮膚に対しては、おむつが汚れたらできればその都度交換する。

拭くとき、クリームなどを塗るときはゴシゴシせず優しくする(すでにやっているかもしれませんが)、強い摩擦を加えない、ということが大切だと思います。



◆みなさま、お子さまの日常のケアで本当に大変だと思います。今回のお話が、少しでもみなさまのお役に立てれば幸いです。

ご自分のお体も大切にされますよう、そしてお子さまがお元気で過ごされますよう、心より応援申し上げます。

北海道療育園 診療部長 徳光亜矢

子どもたちの暮らし、
こんなふうに

タウンミーティングのおしらせ

第3期北海道障がい者基本計画・第7期北海道障がい者福祉計画(仮称)策定に向け、障がいのある方々やその家族、関係者をはじめ広く道民の皆さまからのご意見をいただくため、道内各会場でタウンミーティングを開催します。

開催日時及び開催場所

月日	時間	開催地	場所
9月16日 (土)	10:00 ~ 11:30	札幌市	かでの2・7 8階 820 研修室 (札幌市中央区北2条西7丁目道民活動センタービル)
	10:30 ~ 12:00	旭川市	上川総合振興局 3階講堂 (旭川市永山6条19丁目1番1号)
	15:00 ~ 16:30	釧路市	釧路市観光国際交流センター 3階研修室 (釧路市幸町3-3)
9月17日 (日)	10:00 ~ 11:30	函館市	函館アリーナ 多目的会議室B (函館市湯川町1-32-2)
	10:00 ~ 11:30	網走市	オホーツク総合振興局 3階講堂 (網走市北7条西3丁目)
	10:00 ~ 11:30	帯広市	十勝総合振興局 3階講堂 (帯広市東3条南3丁目1番地)

主催:北海道

参加費:無料

参加申し込み:令和5年9月1日(金)迄

① インターネット(申し込みフォーム使用)

<https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=8cfflin2>

② FAX 011-232-4068

北海道保健福祉部福祉局

障がい者保健福祉課企画

調整係(氏名・郵便番号・

市区町村名・電話番号)



◆息子 Ken は現在 26 歳、体重 31kg です。
この体格になるまで体調は安定せず、学校から緊急搬送されることも度々でした。

褥瘡などの経過

Ken さんのばあい

■高校卒業時の体重は 16 kg、栄養不足からくる褥瘡?!

中学、高校と筋緊張がかなり強く痩せていたため、背骨が十二指腸を圧迫する通過障害で水分も流れづらい状態でした。

足の筋緊張も強かったため、膝裏の骨の出っ張りが褥瘡になりました。

⇒訪問看護で褥瘡看護師さんの指導のもと洗浄とドレッシング剤の使用で治癒

耳の褥瘡も多少ありましたが、頭の動きがよかったので治りやすかったです。

褥瘡は栄養不足も原因で悪化しますが、消化にトラブルがあると簡単に栄養量を増すことができません。栄養不足に加えて筋緊張の強さから肺の動きが少なくなり風邪からの肺炎が頻発、更に水分不足から脱水と負のスパイラルに陥ります。

■呼吸器を 24 時間使用

鼻マスクでの呼吸器で、マスクの圧迫が強いとすぐに水膨れができました。

⇒患部にデュオアクティブや SI エイドを貼ったりしていました。

- ・マスクが違うものになった時、新品のマスクにした時は水膨れができやすい
- ・新しいタイプのマスクは慣れていないので締めすぎる傾向に
- ・ベルトの段差で傷ができたり、圧迫で脱毛

⇒ベルトの段差が大きい部分にリードクッキングペーパーを挟むことで傷が治りやすい

新しいドレッシング剤使用など暫く試行錯誤でした。

筋緊張で気管を締めめる窒息状態で病院搬送が頻回になり、鼻マスク呼吸器を使用してみることに…

■栄養不足改善で体重増から耳の褥瘡に

高校を卒業する少し前から体調が安定し、少しずつミキサー食を始めました。最初はゼリーでしたが、おかずを一品ミキサーにかけて、シリンジで注入しました。だんだん太ってきたことで背骨の影響による通過障害がなくなり、着実に栄養が取れ感染症での入院はなくなりました。

ところが、体重増加で頭が重くなり、耳の褥瘡が治りにくくなりました。

⇒あれこれ試す中で、唯一 U 型の枕を横にして、事あるごとに(おむつ交換・栄養・水分)位置を少しずつすると徐々に快方に向かっています。

体調の安定した生活は子どもの行動範囲を広げ、楽しい毎日に!

■エアマットやスピラドゥで体位交換

仙骨やかかとなどの褥瘡になったことはありませんが、体位交換が重要と聞いています。

長時間バギーに座っていた時、手袋状のスピラドゥをはめて座位と体の間を滑らせるだけで気持ちがいいようです。

寝ている状態でも体の下を滑らせたりすると重心が変わったように感じます。

スピラドゥは他にも靴下を履くときやズボンあげる時など便利な使い方があります。

<鈴木貴代 記>



全国各地で医療的ケアに特化した意見交換ができるワーキンググループ（以下 WG）が作られています。北海道守る会では、毎月第 2 木曜日のお昼前後に定例開催し、ZOOM にてオンライン形式でおしゃべり会をしています。

今年 6 月までに 5 回 WG 会議が行われました。最近の話題では、コロナが 5 類になったことにより、生活にどのような変化があったかの話ができました。

学校では集団の活動が増えたとし、一般の方々はマスクを外す人も多くなってきました。

一方でコロナが無くなったわけではないし、感染した場合やはり医療的ケア児者は重症化のリスクが高いので、感染対策は引き続きしっかり行う必要があるとの意見が出ていました。

その中で 4 年ぶりの開催となる行事も多いので、楽しめるイベントには参加していけると嬉しいですね。

医療物品の新旧コネクタの問題では、旧規格品の存続は決定したが、必要な人の所にきちんと届いているかの話題が出ました。患者側が希望しても、病院側が取り扱っていないとして、旧規格品を支給してくれない所もあるようです。

そのような場合は PDN ショップでの通販や Amazon 等でも購入できるとの情報をいただきました。

身近に医療的ケア児者の仲間がいなかった場合は、この WG で日々抱えている思いや悩みを話して下さってます。仲間たちからは、気分転換の方法や、趣味を持ったり他の家族との時間も持つようにしたりしてはどうか等、ここには書ききれないとても深い内容のアドバイスがありました。

オンラインとは思えないほど皆親身になって下さって、回を重ねるごとに打ち解けているように思います。

医療的ケア児者を取り巻く環境は日々変化していて、毎回話題が尽きませんが、今後もタイムリーな話題や困ったこと等皆で話し合えると、とても心強いと感じます。

医療的ケアで困っている人、困ってる人を助けたい人がいたら、ぜひこの WG にご参加下さい。心からお待ちしています。<時崎 記>

☞WG 入会希望は北海道守る会事務局迄
Eメール<sien@hokuryo.or.jp 担当：安井>

お客様 各位 

「経腸栄養関連製品（旧規格品）」 継続品種について

2023年6月
株式会社 トップ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、薬生安発0630第1号として発出されました「旧規格に適合した経腸栄養分野の小口径コネクタ製品を製造販売する場合の取扱いについて」を受け、弊社と致しましては、旧規格品の別紙品種について継続販売致します。

当該製品の購入やご不明な点につきましては、恐れ入りますが、弊社下記拠点地までご連絡をお願い申し上げます。

何卒宜しくお願い申し上げます。

記

- 旧規格製品継続使用に関する詳細
 - ※ 日本小児医療保健協議会合同委員会重症心身障害児(者)・在宅医療委員会 資料より
 - https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20230220_jushin_connector.pdf

「経腸栄養関連製品(旧規格品)一覧表は全国守る会 HP に掲載されています。必要な方は下記の札幌営業所に連絡してください☺

■ お問い合わせ先 **札幌営業所 011-820-8383 <管轄地域 北海道>** ※2023年6月現在

はじめまして

森光 郁子

<息子 大介 28歳 札幌地区>

我が家は5年前、横浜シーパラダイスの近くから札幌に生活に移しました。

実家の老々介護が限界にきていたからです。私には28年ぶり故郷の生活ですが、四国出身の夫と医療的ケアが必要な重症心身障がいの息子には、外国のような初めての雪国生活が待っていました。

どうなることやら？内心ちょっと心配とワクワクでした。

ところが、引っ越し早々北海道の原始林をなぎ倒すほどの大型台風直撃・胆振東部地震でブラックアウトが起き、道民でも初めての事ばかり。その中、一番平静でマイペースなのが息子大介でした。

大介は、28年前1月の寒い朝北海道で生まれ(里帰り出産)、その夕方救急車で札幌市内のNICUへ、そして日齢5日目、当時銭函にあった北海道立小児総合保健センター(現コドモックル)で高橋先生の5時間以上かかる脳外科手術を受けて、一命をとりとめました。

幸いにも術後3か月入院予定が、3週間で退院できる事になったのです。退院当日、大人たちは嬉しい反面これからの生活への緊張と今後現れる障がいに不安な気持ちで身構えていました。

そこに弟に会える日を待ちわびていた2歳長女の「赤ちゃん、夕張メロンだー」と一声が響き、みんな思わず笑い顔。頭に術後ネットを被った大介は、そうまさにネットメロン。高級ではないか。

夫の故郷では、障がい児のことを宝子というそうです。その子どもが、家族みんなで力を合わせて生きる大事さを気づかせる存在だから。

あれから我が家は、横須賀・横浜・そして札幌と拠点を移しながら、地域の仲間・専門家・先輩たちの助けや交流を経て現在の生活があります。

転居前から福祉施設と区の福祉職員の方々や計画相談の事業所が横浜と札幌で連携をとっていただけたおかげで、息子は今も同様な福祉サービスを利用し、楽しく毎日を過ごしています。

北海道の皆さん、社会人(生活介護通所)転職組の息子ですが、どうぞよろしくお願い致します。



在宅部会

そっち

こっち

日ハムエスコンフィールド身障者トイレに

念願のユニバーサルシートが設置

今年3月にオープンのエスコンフィールド、何と身障者トイレにユニバーサルシートが無い！<札幌ドームには2か所有り>

👉日ハム観戦大好きな娘<36歳・45キロ>のおむつ交換は？

👉身障者トイレの床にブルーシートを敷いては？

👉ベッドからは抱き上げられるけど、床からは無理ですー。

👉救護室を使っては？ すでに使用されている..

👉親子3人観戦の度に「ユニバーサルシートはまだですか？」

8月始めに、一部でしたが縦長と壁側のシートが設置されました。安心してエスコンフィールドに行けますよ～<札幌地区S>



北海道の特別支援学校の増改築設計費の予算が
6月道議会でも可決

きょうあい

狭隘化改善の課題が、

今年度、一歩、前進しました！

浦西 孝浩 <道在宅部会長・オホーツク地区会長>

道内の特別支援学校は、年々、入学生徒数が増加しており、多くの特別支援学校が教室の手配に四苦八苦の状態です。

子どもたちの貴重な学びの場の適正確保はどうすれば実現するのか。私たち道重症心身障害児（者）を守る会が声をかけて、北海道手をつなぐ育成会など関係する8つの障がい者団体が連名して、昨年、十月に北海道教育委員会に既存の特別支援学校の狭隘化について、現状を確認して改善をしてほしいと要望を行いました。

すべての学校を対象に同時期に進めることはできませんが、それに応える具体的な動きとして、六月道議会でも北見支援学校を最初の対象校とした設計費が可決、今後は、順次、対象校を選定して狭隘化改善が進められると思います。

ともに課題を見つめ、何をすべきかを考え、動くことで重い重複障がいを持つ私たちの子どもたちの地域での暮らし、学びの環境は良い方向に変わります。

今年度も北海道と北海道教育委員会に対して、それぞれ要望書を提出します。

「子どもたちのために、私たちが声を出さなければ!!」です。

ひとりではみんなのために みんなはひとりのために あきらめずじ。

移行期医療支援(トランジション)相談支援センター開設へ

2024年7月、北海道からの委託事業として、移行期医療相談支援センターが北海道医療センター(札幌市)に開設

移行期医療支援コーディネーターが道内の医療提供体制を把握し、成人期医療に関する相談支援や医療機関間の連絡調整を行い、適切な医療を受けられるよう支援します。

センター開設に向けて、今回は帯広地区のご意見を一部紹介します。

▶あちこちの診療科に連れて行くのは感染のリスクもあり、大変です。

ある程度は一括して受診できるとありがたいです。

▶行動面で多動があると一般的な診察や予防接種でも断られることがあり、小児科以外では受け入れてもらえないケースが多い。他の診療科の医師や看護師さんにも障害への理解とスキルアップを望みます。

▶ケア会議のように現主治医と移行先の先生を含めて話し合う場が持てれば、更に安心できると思います。

▶支援センターが札幌に1か所だけでは道内広いので、サテライト的に各地にできるといいなと思います。

重症児者の家族は小児科から内科への移行等にどのような不安、体験、要望しているかを各地区在宅部会に聞いています。

訃報

謹んでご冥福をお祈りいたします

■菅 美織さん(28歳本人)

令和5年5月10日逝去

<帯広地区>

北海道圏域別在宅重症心身障がい児者状況

※札幌市以外 <R4.4.1 現在 北海道状況調査より> *→17名以上

二次圏域名	重症児者数	0～5歳	6～17歳	18歳以上
北空知	5	1	1	3
中空知	22	2	5	15
南空知	35 * 岩見沢市 18	3	9	23
札幌	100	6	37	57
後志	70 * 小樽市 41	11	40	19
西胆振	58 * 室蘭市 34	4	18	36
東胆振	58 * 苫小牧市 53	10	31	17
日高	31 * 新ひだか町 17	4	9	18
南渡島	64 * 函館市 38	3	15	46
北渡島檜山	9	1	4	4
南檜山	6	1	3	2
上川中部	121 * 旭川市 104	12	43	66
上川北部	8	0	1	7
富良野	8	2	3	3
留萌	7	3	1	3
宗谷	15	1	10	4
北網	37 * 北見市 17	2	18	17
遠紋	16	2	3	11
十勝	81 * 帯広市 38	12	33	36
釧路	99 * 釧路市 79	6	22	71
根室	18	1	4	13
計	868▶H29. 673	86▶67	310▶230	472▶376

<札幌圏域→* 江別市 25 * 千歳市 22 * 北広島市 18 * 石狩市 18>

道内の人口減少が進む中で、重症心身障害児者はこの5年間で200人近く増えています。そして約半数が医療的ケアを必要としています。地域資源の活用も含めて支援の創意、工夫を進めていきましょう。

今後の予定



- 9/9 - 10 (土・日) 第60回守るの全国大会<広島市>
- 9/14(木) 北海道守る会在宅部会医療的ケアWG<Zoom>
- 10/12(木)札幌地区守る会施設見学会<済生会みどりの里>
- 10/21(土) 北海道守る会拡大理事会<ハイブリット>
- 11/4 (土) オホーツク地区守る会茶話会
- 12/2 (土) 全国守る会事専門部会長会議<北浦記念館3階>

最も弱いものを
ひとりももれなく守る

会員・賛助会員 募集中

北海道守る会は子どもたちの生涯にわたるより良い暮らしを願って地域に根ざした活動を展開しています。

連絡先☎北海道守る会事務局

〒071-8144 旭川市春光台4条10丁目

☎(0166)51-6524・FAX51-6871

<http://hokkaidoumamorukai.g2.xrea.com/>

(HPに「ほどこらせ」が掲載されています)

<会費>

■正会員 10,400円

■賛助会員 7,000円

(全国守る会会報両親の集い 500円を含む)

□■会費の早期納入へのご協力を宜しく
お願いします。

(7月末の議案書送付の際に振込用紙を同封)

又、住所・所属の変更(在宅から入所等)
の際は事務局へ連絡をお願いします。

<北海道守る会事務局>

「出会いは宝です…」とコロナ前の交流キャンプ開催時の冒頭挨拶でした。
子どもたちにとっても、宝となる様々な人と出会う機会、仕掛けづくりが少しずつ再開できるといいですね。
想定外の猛暑に地球の怒りを感じます。
ご多忙の中、寄稿してくださいました皆様
様に心より感謝申し上げます。

(太田記)

編集後記

<☎FAX011-771-8345>

Eメール:cpwsr828@chime.ocn.ne.jp

★ 編集責任者・太田由美子 ☆ 編集協力者・猪狩麻起子・大内美穂・時崎由美・鈴木貴代・中村憩子(カット)

★ 会への要望、会報へのご意見、ご希望等がありましたら各地区在宅役員、又は太田迄お寄せください。